

春日部市文化財保存活用地域計画協議会

令和8年度 第1回 会議資料

日時：令和8年7月7日(火) 14時～

場所：春日部市役所本庁舎4階 委員会会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 事務局職員自己紹介

4 議 事

(1) 報告

①令和7年度事業報告について 3

②令和8年度事業計画について 28

(2) その他

5 閉 会

春日部市文化財保存活用地域計画協議会委員

	氏 名	選任区分	備 考
1	さとう たかし 佐藤 貴	1号委員	春日部市教育委員会学校教育部指導課
2	すだ だいき 須田 大樹	2号委員	埼玉県教育局教育総務部文化財・博物館課
3	ただ けいこ 多田 圭子	3号委員	県指定「碓神社のイヌグス」所有者
4	しみず ようこ 清水 洋子	3号委員	市指定「不動院野の神楽」保存会会員
5	たなか ひろこ 田中 裕子	4号委員	春日部市文化財保護審議会
6	いなもと けいこ 稲本 恵子	4号委員	宝塚医療大学観光学部
7	ささき まこと 佐々木 誠	4号委員	日本工業大学建築学部
8	つつの ひろやす 筒野 広康	5号委員	春日部商工会議所
9	おりはら ゆきのり 折原 章哲	5号委員	一般社団法人春日部市観光協会
10	えのもと ちな 榎本 茅菜	6号委員	公募に応じた市民

任期：令和7年7月1日から令和9年6月30日まで

春日部市教育委員会

教育長 鎌田 亨

事務局

社会教育部長 関根 栄治

社会教育部次長 井崎 圭介

文化財課長(兼)

郷土資料館長(学芸員) 實松 幸男

文化財担当主幹(学芸員) 成川 雅夫

// 主幹(学芸員) 越智 俊夫

// 主査(学芸員) 中野 達也

// 主任(再任用) 神田 俊一

// 主事(学芸員) 山下 知穂

文化財担当主事(学芸員) 小林 楓

// 主事(学芸員) 新井 翠

郷土資料館主幹(学芸員) 鬼塚 知典

// 主査(学芸員) 榎本 博

// 主査(学芸員) 岡本 直也

// 主任 山田 彰

〒344-8577 春日部市中央七丁目2番地1

春日部市教育委員会 社会教育部 文化財課

TEL：048-739-6811 / FAX：048-737-3681 / E-MAIL:bunkazai@city.kasukabe.lg.jp

報告① 令和7年度事業報告について

I. 施策体系

1-1-1	文化遺産の把握調査を推進する
1-2-1	文化遺産の詳細調査（調査研究）を推進する
1-2-2	文化遺産の価値づけを行う
1-3-1	文化遺産の情報発信を強化する
1-3-2	文化遺産の公開・活用を推進する
1-3-3	文化遺産に関する講座などを開催する
1-3-4	学校教育と連携する
1-3-5	社会教育と連携する
1-3-6	市民や関係団体と連携する
1-3-7	郷土資料館の充実を図る
1-3-8	関連文化財群を設定する
2-1-1	文化財の指定等を推進する
2-1-2	新たな制度について検討する
2-2-1	文化遺産を適切に管理する
2-2-2	文化遺産を継承する
2-2-3	文化遺産の情報を共有する
2-3-1	文化遺産の保管施設などの整備を促進する
2-3-2	防災・防犯意識を向上させる
2-3-3	防災・防犯体制を整備する
2-4-1	人材を育成する
2-4-2	附属機関を活用する
2-4-3	県や関係自治体と連携する
2-4-4	庁内連携を拡充する
2-4-5	市民や関係団体などとの協働を推進する
3-1-1	観光分野へ活用する
3-1-2	景観・まちづくり分野へ活用する
3-1-3	その他の分野へ活用する

II. 計画期間

前期	令和5年度～令和7年度
中期	令和8年度～令和11年度
後期	令和12年度～令和14年度

III. 評価基準

A	達成基準に対し、進捗率が80%以上
B	達成基準に対し、進捗率が50%以上、80%未満
C	達成基準に対し、進捗率が50%未満
—	計画期間外などのため、評価対象外

IV. 評価基準日

令和8年3月31日

施策体系	1-1-1	事業名	1	建造物の把握調査	計画期間	中/後期
事業内容	概ね50年以上経過した建造物の把握を進める					
R7年度 実施計画	・常楽寺薬師堂（赤沼）の調査（6月、10月）					
R7年度 実施結果	市指定有形文化財「常楽寺の木造薬師如来立像」が安置されている薬師堂について、文化財保護審議会委員による予備調査（6/3）、本調査（11/18）を実施した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-1-1	事業名	2	市史編さん事業に伴う資料調査	計画期間	前/中/後期
事業内容	第2次事業計画に則り、地形や地質、石造物や絵馬、動植物のほか、これまで未調査であった文化遺産についても調査を実施する					
R7年度 実施計画	・春日部地域の石造物調査を実施（通年）					
R7年度 実施結果	市史石造物部会を設置し、春日部地域の石造物の巡見を行うとともに、内牧地区の石造物調査に着手した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-1-1	事業名	3	市内遺跡の所在確認調査	計画期間	前/中/後期
事業内容	土木工事などに先立ち所在確認調査を実施することで遺跡範囲の適切な把握に努める					
R7年度 実施計画	・各種開発に先立つ所在確認調査を実施（通年）					
R7年度 実施結果	43件の所在確認調査を実施し、2か所で遺跡の所在を確認した（小湊山下遺跡1か所、小湊山下北遺跡1か所）					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-1-1	事業名	4	文化遺産データベースの構築	計画期間	前/中/後期
事業内容	市域に点在する文化遺産情報をまとめたデータベースを作成し、定期的に更新する					
R7年度 実施計画	・指定等文化財及び未指定文化財データベースの整備を継続（通年）					
R7年度 実施結果	郷土資料館収蔵資料及び庄和町史編さん資料（石造物）を中心に、未指定文化財8,149件のうち365件のリスト化を行った（R6年度3,556件）					
評 価	A. 予定どおり実施できた					

*太字は重点事業

施策体系	1-2-1	事業名	5	所蔵資料の整理調査	計画期間	前/中/後期
事業内容	所蔵する古文書や歴史資料などの調査及び整理を実施する					
R7年度 実施計画	・郷土資料の調査と受入、整理（通年） ・受贈図書の整理と管理（通年） ・郷土史家による粕壁宿の調査（通年）					
R7年度 実施結果	郷土資料館にて23件（555点）の資料の受入を行ったほか、4件の郷土資料の調査を行った。受贈図書の整理を継続した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-2-1	事業名	6	史跡神明貝塚の資料整理事業	計画期間	前期
事業内容	神明貝塚の価値を磨き上げるため、既存資料の整理を実施する					
R7年度 実施計画	・神明貝塚詳細調査報告書の刊行（通年）					
R7年度 実施結果	S36年度の1次地点からH28年度の12次地点までの調査成果を取りまとめた『神明貝塚詳細報告書（第1分冊・第2分冊）』（埋文35集）を刊行した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-2-2	事業名	7	把握資料の評価	計画期間	前/中/後期
事業内容	新たに把握した資料や整理が進んだ資料の評価を実施し、市の歴史文化への位置づけを行う					
R7年度 実施計画	・文化財保護審議会、郷土史家などによる資料調査を実施（通年）					
R7年度 実施結果	山車等、4件の郷土資料の調査を行った					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-1	事業名	8	各種調査報告書の刊行	計画期間	前/中/後期
事業内容	調査成果の適切な記録保存と速やかな公開に努めるため、文化遺産の調査報告書の刊行を推進する					
R7年度 実施計画	・『小湊山下遺跡10次地点』『小湊山下北遺跡24次地点』発掘調査報告書を刊行（通年）					
R7年度 実施結果	R6年度に調査実施の『小湊山下遺跡10次地点』（埋文33集）、R7年度に調査実施の『小湊山下北遺跡24次地点』（埋文34集）の発掘調査報告書を刊行したほか、『神明貝塚詳細報告書』（埋文35集）を刊行した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					

*太字は重点事業

施策体系	1-3-1	事業名	9 市史の刊行	計画期間	前/中/後期
事業内容	第2次事業計画に則り、順次、資料編などを刊行する				
R7年度 実施計画	・市史の頒布（通年） ・市制20周年記念年表の公開（10月）				
R7年度 実施結果	市史の頒布を通年実施するとともに、春日部市市制施行20周年記念「春日部市20周年の歩み（年表）」を市ホームページにて公開した				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	1-3-1	事業名	10 文化財マップの更新	計画期間	中/後期
事業内容	文化財の指定等に伴い内容の更新を行い、多様な媒体を用いて周知を図る				
R7年度 実施計画	—				
R7年度 実施結果	—				
評 価	—				
施策体系	1-3-1	事業名	11 ICTの活用	計画期間	前/中/後期
事業内容	ホームページやブログなど、行政や所有者などがICTを活用した文化遺産の情報発信を推進する				
R7年度 実施計画	・ホームページ及びブログの更新（通年） ・スキップシティ移動公開ライブラリーの設置（4月下旬～3月） ・デジタルアーカイブ（収蔵品管理・公開システム）の運用（通年）				
R7年度 実施結果	イベント等の情報発信について、随時ホームページの更新を行ったほか、195件の記事をブログに投稿した。期間限定で郷土資料館及び大風文化交流センターに移動公開ライブラリーを設置し、利用者の用に供した。郷土資料館収蔵資料データベースの公開を行うとともに、公開資料の拡充を図った				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	1-3-1	事業名	12 解説板の設置・修繕	計画期間	前/中/後期
事業内容	指定等文化財の解説板の設置を推進するとともに、既設の解説板の内容更新や修繕を行う				
R7年度 実施計画	・既設解説板2基程度の修繕（通年） ・神明貝塚現地解説板の設置（通年） ・花積貝塚石碑敷地の土地借上（通年）				
R7年度 実施結果	「倉常の神楽囃子」「最勝院と寺町」2基の解説板の修繕を実施するとともに、神明貝塚現地に解説板を1基設置した 所有者の協力のもと、花積貝塚石碑敷地の土地借上を継続した				
評 価	A. 予定どおり実施できた				

*太字は重点事業

施策体系	1-3-2-2-2	事業名	13 歴史的公文書の収集・保存・活用	計画期間	前/中/後期
事業内容	公文書は市の歩みを示すものであることから、適切に収集・保存・整理を行うことで、今後の市史編さんなどに活用する				
R7年度実施計画	・歴史的公文書及び行政作成物を収集・保存・整理（通年）				
R7年度実施結果	年度当初及び文書廃棄に合わせ歴史的公文書を収集するとともに、随時、行政作成物の収集を行った				
評価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	1-3-2	事業名	14 所蔵資料の公開・利用の推進	計画期間	前/中/後期
事業内容	企画展示などで定期的に所蔵資料の公開を行うとともに、資料の外部利用や貸出を推進するための環境を整備する				
R7年度実施計画	・企画展「藤・澁・富士」展（3月～5月）、第71回企画展示「中世板碑の世界」展（5月～7月）、第72回企画展示「麦わらの春日部」展（7月～9月）、第42回地域学習展「くらしのうつりかわり」展（10月～3月）の開催 ・デジタルアーカイブ（収蔵品管理・公開システム）の運用（通年）				
R7年度実施結果	「藤・澁・富士 ふじのかすかべ」展（3/22～5/2）、「中世板碑の世界 発掘された板碑」展（5/17～7/6）、「麦わらのかすかべ 帽都いま・むかし」展（7/23～9/7）、「くらしのうつりかわり」展（10/7～3/1）を開催したほか、郷土資料館収蔵資料データベースの公開を行った				
評価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	1-3-2	事業名	15 民間所蔵資料の公開の促進	計画期間	前/中/後期
事業内容	まちなかの施設や店舗などでの展示や、郷土資料館での借用などにより、民間所蔵資料の公開を促進する				
R7年度実施計画	・企画展「藤・澁・富士」展（3月～5月）、第71回企画展示「中世板碑の世界」展（5月～7月）、第72回企画展示「麦わらの春日部」展（7月～9月）、第42回地域学習展「くらしのうつりかわり」展（10月～3月）の開催				
R7年度実施結果	「藤・澁・富士 ふじのかすかべ」展（3/22～5/2）、「中世板碑の世界 発掘された板碑」展（5/17～7/6）、「麦わらのかすかべ 帽都いま・むかし」展（7/23～9/7）、「くらしのうつりかわり」展（10/7～3/1）を開催し、資料の公開を促進した				
評価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	1-3-2	事業名	16 発掘調査の現地説明会の開催	計画期間	前/中/後期
事業内容	埋蔵文化財の保護について周知するために、発掘調査の現地説明会を開催する				
R7年度実施計画	・大風文化交流センター駐車場造成に伴う発掘調査時に実施（1回）				
R7年度実施結果	大風文化交流センター駐車場造成に伴う発掘調査の現地説明会を12/12に開催し、市内外から38人の参加を得た				
評価	A. 予定どおり実施できた				

*太字は重点事業

施策体系	1-3-2	事業名	17	史跡神明貝塚活用事業	計画期間	前/中/後期
事業内容	神明貝塚に愛着や誇りをもってもらうため、ICTなども活用しながら、対象者に応じた事業を実施する					
R7年度 実施計画	・ボランティア講座、出張授業の実施（通年） ・スマートフォン用コンテンツ制作の研究（通年）					
R7年度 実施結果	ボランティア講座を1回、出張授業を延5校で実施したほか、デジタルコンテンツ制作の研究を継続した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-2	事業名	18	史跡神明貝塚整備事業	計画期間	前/中/後期
事業内容	一般公開に向け、史跡の公有地化や整備事業を推進する					
R7年度 実施計画	・史跡指定範囲の土地購入（通年） ・現地解説板の設置（通年）					
R7年度 実施結果	11筆6,554.51㎡の土地購入を行い、公有化率は93.0%となった(史跡面積19,927.02㎡、R5年度購入3,127.19㎡、R6年度購入8,194.86㎡、市道部分663.84㎡) 史跡現地に解説板を1基設置した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-2	事業名	19	オリジナルグッズの開発	計画期間	中/後期
事業内容	文化遺産の魅力の普及啓発を推進するため、オリジナルキャラクターを活用したグッズの開発を行う					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	1-3-2	事業名	20	ユニークベニユーなどの検討	計画期間	中/後期
事業内容	ユニークベニユーなどの文化遺産の新たな活用方法について研究を行う					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					

*太字は重点事業

施策体系	1-3-2	事業名	21 他市町・他機関実施公開事業との連携	計画期間	中/後期
事業内容	近隣市町や全国規模の協議会などにおける文化遺産の公開事業の取組に参加することで、市域の文化遺産の県内外への公開を推進する				
R7年度 実施計画	—				
R7年度 実施結果	—				
評 価	—				
施策体系	1-3-3/2-4-1	事業名	22 文化遺産に関する講座の開催	計画期間	前/中/後期
事業内容	文化遺産の魅力の普及啓発を促進するため、それらに関する講座を開催する				
R7年度 実施計画	・土器作り教室（1回）、市史講座（2回）、展示解説（3月～9月）、展示解説講座（2回）、記念講演会（1回）、夏季体験講座（1回）、体験講座（4回）、体験ワークショップ（14回）、謎解きイベント（10月～3月）、考古学講座（6回）、古文書講座（16回）、学芸員講座、歴史文化講演会（6回）の開催				
R7年度 実施結果	土器作り教室（1回）、市史講座（1回）、ミュージアムトーク（15回）、展示解説講座（2回）、夏季展示記念講演会（1回）、体験講座（5回）、手作りおもちゃ作りクラブ（14回）、謎解きイベント（3回）、考古学講座（6回）、古文書講座（15回）、学芸員講座（3回）、歴史・文化講演会（6回）などを開催した				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	1-3-3	事業名	23 民俗芸能公開事業の開催	計画期間	前/中/後期
事業内容	祭礼でしか公開されない民俗芸能の周知を図るため、複数の保存会が出演する上演会を開催する				
R7年度 実施計画	・民俗芸能公開事業を開催（2月）				
R7年度 実施結果	2/8に庄和市民センター正風館にて第12回春日部市民俗芸能公開事業を開催する予定であったが、雪のため中止とした				
評 価	C. 予定どおり実施できなかった				
施策体系	1-3-4/2-4-1	事業名	24 講師の派遣	計画期間	前/中/後期
事業内容	社会科や総合的な学習の時間などに、市職員を講師として派遣し、郷土の歴史文化への理解を促進する				
R7年度 実施計画	・出張授業（通年）、でばりい資料館（通年）の実施				
R7年度 実施結果	出張授業を5件、でばりい資料館を12件で行ったほか、10件の大風文化交流センターの見学に際し講師を派遣した。				
評 価	A. 予定どおり実施できた				

* 太字は重点事業

施策体系	1-3-4	事業名	25	教材の開発	計画期間	前/中/後期
事業内容	社会科副読本やその他の教材の作成に際し、資料提供や内容確認を行う					
R7年度 実施計画	・視聴覚センター専門委員会における教材の作成（通年） ・民具、考古、歴史資料の貸出セットの整備（通年）					
R7年度 実施結果	視聴覚センター専門委員会において「わたしたちのかすかべ」デジタルコンテンツとして「くらしの中の水」という映像教材を作成した					
評価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-4	事業名	26	小学校地域資料室の整備	計画期間	前/中/後期
事業内容	所蔵資料の有効活用を図るため、小学校地域資料室の整備や展示内容の更新を行う					
R7年度 実施計画	・既設10校の更新、未整備4校の現況確認（通年）					
R7年度 実施結果	既設の資料室を整備した					
評価	B. 概ね予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-4	事業名	27	小学校地域学習展の開催	計画期間	前/中/後期
事業内容	小学校第3学年の社会科地域学習に即した内容の展示会を行う					
R7年度 実施計画	・第42回地域学習展「くらしのうつりかわり」展の開催（10月～3月） ・小学校団体見学の受入（通年）					
R7年度 実施結果	10/7～3/1まで小学校地域学習展を開催した。 延6校の小学校団体見学を受け入れた。					
評価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-4	事業名	28	民俗芸能指導者の派遣	計画期間	前/中/後期
事業内容	クラブ活動や総合的な学習の時間などに、保存会を派遣し、舞や演奏などを体験することにより郷土の歴史文化への理解を促進させる					
R7年度 実施計画	・幸松小放課後子ども教室（東不動院野神楽保存会）、南桜井小クラブ活動（西金野井獅子舞保存会）、中野小総合的な学習の時間（東中野獅子舞保存会）、江戸川小中総合的な学習の時間（榎灘子神楽連）、豊野小総合的な学習の時間（銚子口獅子舞保存会、赤沼民俗文化財保存会）を実施（通年）					
R7年度 実施結果	幸松小放課後子ども教室（東不動院野神楽保存会）、南桜井小クラブ活動（西金野井獅子舞保存会）、中野小総合的な学習の時間（東中野獅子舞保存会）、江戸川小中総合的な学習の時間（榎灘子神楽連）、豊野小総合的な学習の時間（銚子口獅子舞保存会、赤沼民俗文化財保存会）に、各保存会が指導を行った					
評価	A. 予定どおり実施できた					

*太字は重点事業

施策体系	1-3-5/2-4-1	事業名	29	かすかべし出前講座	計画期間	前/中/後期
事業内容	市の歴史文化に関わる市民主催の講座などに、市職員を講師として派遣する					
R7年度 実施計画	・依頼により派遣（通年）					
R7年度 実施結果	社会教育課所管の出前講座に、5件の講師派遣を行った					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-5	事業名	30	青少年教育との連携	計画期間	前/中/後期
事業内容	放課後子ども教室や郷土かるた大会、子ども大学などを活用し、文化遺産の周知に努める					
R7年度 実施計画	・依頼により派遣（通年）					
R7年度 実施結果	幸松小学校放課後子ども教室「幸松っこくらぶ」に講師派遣を行った					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-5	事業名	31	図書館・公民館との連携	計画期間	前/中/後期
事業内容	図書館や公民館主催事業に講師を派遣するほか、ミニ展示会を開催するなど、文化遺産の周知に努める					
R7年度 実施計画	・依頼により派遣（通年）					
R7年度 実施結果	図書館及び公民館事業に、6件の講師派遣を行った					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-6	事業名	32	市民・関係団体実施事業への協力	計画期間	前/中/後期
事業内容	市民や関係団体が実施する事業への講師派遣や共催・後援などの協力や支援を行う					
R7年度 実施計画	・依頼により協力（通年）					
R7年度 実施結果	市民及び関係団体が実施する事業に、18件の講師派遣を行った					
評 価	A. 予定どおり実施できた					

*太字は重点事業

施策体系	1-3-7	事業名	33 郷土資料館の機能の拡充	計画期間	前/中/後期
事業内容	令和4年度現在、郷土資料館は「博物館類似施設」であるが、改正博物館法に基づき、博物館としての基本的機能を充実させ、従来の社会教育・学校教育のほかに、観光・まちづくり・福祉など多様な連携を図るため、施設や体制の拡充について検討する				
R7年度 実施計画	・教育センターリノベーションに係る郷土資料館充実の研究（通年） ・博物館登録申請に向けた準備作業（通年） ・年報の公開、紀要の検討（通年） ・クレヨンしんちゃんモニュメントの設置（8月）【シティセールス広報課】				
R7年度 実施結果	・教育センターリノベーションに係る郷土資料館の設計について検討した ・博物館法に基づく登録博物館として登録された ・年報を作成し、市の公式HPで公開した ・クレヨンしんちゃんモニュメントを郷土資料館入り口付近に設置した				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	1-3-7	事業名	34 郷土資料館常設展示の拡充・更新	計画期間	前/中/後期
事業内容	開館後30年以上が経過し、これまで小規模な更新にとどまっているため、学術的な調査研究の成果を踏まえ、展示内容の拡充や更新を図る				
R7年度 実施計画	・常設展示の更新に向けた、構成や展示資料等の再検討（通年）				
R7年度 実施結果	郷土資料館内の常設展示の一部更新を行ったほか、教育センター内のロビー展示を行った				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	1-3-7	事業名	35 郷土資料館企画展示の開催	計画期間	前/中/後期
事業内容	所蔵資料の公開や市の歴史文化の周知を図るため、春季展示や夏季展示を開催する				
R7年度 実施計画	・企画展「藤・渚・富士」展（3月～5月）、第71回企画展示「中世板碑の世界」展（5月～7月）、第72回企画展示「麦わらの春日部」展（7月～9月）の開催				
R7年度 実施結果	「藤・渚・富士 ふじのかすかべ」展（3/22～5/2）、「中世板碑の世界 発掘された板碑」展（5/17～7/6）、「麦わらのかすかべ 帽都いま・むかし」展（7/23～9/7）、「くらしのうつりかわり」展（10/7～3/1）を開催した				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	1-3-7	事業名	36 郷土資料館デジタルミュージアムの推進	計画期間	中/後期
事業内容	郷土資料館の利活用を促進するため、資料館ホームページにおける所蔵資料リストの公開や、所蔵資料の紹介など、ICTを活用した情報発信を推進する				
R7年度 実施計画	・収蔵品管理・公開システムの運用を開始（通年）				
R7年度 実施結果	収蔵資料データベースの公開を行った				
評 価	A. 予定どおり実施できた				

* 太字は重点事業

施策体系	1-3-7	事業名	37	郷土資料館各種講座・講演会の開催	計画期間	前/中/後期
事業内容	市の歴史文化に関する講座や講演会、ワークショップを開催し、歴史文化への興味や理解を促進する					
R7年度実施計画	・展示解説（3月～9月）、展示解説講座（2回）、記念講演会（1回）、夏季体験講座（1回）、体験講座（4回）、体験ワークショップ（14回）、謎解きイベント（10月～3月）、考古学講座（6回）、古文書講座（16回）、学芸員講座、歴史文化講演会（6回）の開催					
R7年度実施結果	ミュージアムトーク（15回）、展示解説講座（2回）、夏季展示記念講演会（1回）、体験講座（5回）、手作りおもちゃ作りクラブ（14回）、謎解きイベント（3回）、考古学講座（6回）、古文書講座（15回）、学芸員講座（3回）、歴史・文化講演会（6回）などを開催した					
評価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-7/2-4-1	事業名	38	博物館実習の受入れ	計画期間	前/中/後期
事業内容	各大学の博物館学芸員実習生を受入れ、館務を実習させることにより、市の歴史文化への理解を促進する					
R7年度実施計画	・博物館実習の受入（7月～8月）					
R7年度実施結果	5人の学生を受入れ、7/26～8/1、8/9、8/31の8日間に博物館実習を実施した					
評価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	1-3-7	事業名	39	郷土資料館オリジナルグッズの開発	計画期間	中/後期
事業内容	郷土資料館オリジナルキャラクターを活用し、文化遺産の魅力を伝えるグッズ開発を進める					
R7年度実施計画	—					
R7年度実施結果	—					
評価	—					
施策体系	2-1-1	事業名	40	文化財の指定	計画期間	前/中/後期
事業内容	市条例に基づき、市の歴史文化にとって重要な文化遺産を指定文化財に指定する					
R7年度実施計画	・「常楽寺の木造薬師如来立像」「馬場遺跡出土旧石器時代石器群」の2件を市有形文化財に指定 ・文化財保護審議会において指定候補物件の選定（6月）、調査（通年）					
R7年度実施結果	「常楽寺の木造薬師如来立像」「馬場遺跡出土旧石器時代石器群」の2件を市有形文化財に指定した 「岩井宏融家文書」を指定候補物件に選定し、基礎的な整理を進めた					
評価	A. 予定どおり実施できた					

*太字は重点事業

施策体系	2-1-2	事業名	41	文化財の登録制度の検討	計画期間	中/後期
事業内容	法第182条第3項の規定に基づく登録制度の取扱いについて検討する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	2-1-2	事業名	42	市独自の認定制度の検討	計画期間	中/後期
事業内容	市独自の認定制度のあり方について検討する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	2-2-1	事業名	43	文化遺産の管理支援	計画期間	前/中/後期
事業内容	積極的に寄贈や寄託の受入れを行うことで、文化遺産の管理支援を行う					
R7年度 実施計画	・郷土資料の調査と受入、整理（通年）					
R7年度 実施結果	郷土資料館にて23件（555点）の資料の受入を行った					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-2-1	事業名	44	収蔵施設の確保	計画期間	前/中/後期
事業内容	年々増加する資料を収蔵するための施設の確保に努める					
R7年度 実施計画	・文化財第2収蔵庫、大風文化交流センター収蔵庫の管理（通年）					
R7年度 実施結果	大風文化交流センター収蔵庫などの管理を継続した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					

*太字は重点事業

施策体系	2-2-1	事業名	45	文化遺産の保存環境整備への支援	計画期間	前/中/後期
事業内容	文化遺産の素材に応じた適切な保存環境の整備に対し支援を行う					
R7年度 実施計画	・天然記念物樹勢診断、指定文化財環境整備、各種補助金の活用（通年）					
R7年度 実施結果	管理が困難となっている史跡の環境整備を実施した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-2-1	事業名	46	史跡神明貝塚の保存事業	計画期間	中/後期
事業内容	神明貝塚の適切な保存を図る					
R7年度 実施計画	・史跡指定範囲の土地購入（通年） ・史跡指定範囲の除草、防草シートの設置（通年）					
R7年度 実施結果	11筆6,554.51㎡の土地購入を行ったほか、除草作業（年2回）、防草シート（4,849㎡）及び侵入防止ネットフェンス（165m）を設置した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-2-1/2-3-3	事業名	47	文化遺産の現況調査	計画期間	前/中/後期
事業内容	定期的に文化遺産の現況調査を実施することにより、適切な保存を図る					
R7年度 実施計画	・天然記念物樹勢診断、指定文化財環境整備、各種補助金の活用（通年）					
R7年度 実施結果	文化遺産の公開時、また台風等の自然災害の発生後に、適宜現況調査を実施し、文化遺産の適切な保存に努めた					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-2-1/2-3-3/2-4-1	事業名	48	文化財保護指導委員の設置の検討とパトロール体制づくり	計画期間	中/後期
事業内容	法第191条第1項の規定に基づく文化財保護指導委員の設置を含め、地域で文化遺産を見守る体制づくりについて検討する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					

*太字は重点事業

施策体系	2-2-2	事業名	49	文化財保存事業費補助金の交付	計画期間	前/中/後期
事業内容	指定等文化財の保存に必要な事業に対し補助金を交付する					
R7年度 実施計画	・有形文化財及び記念物の所有者が行う文化財保存事業に補助金を交付（通年）					
R7年度 実施結果	「香取神社本殿」「花蔵院の四脚門」の防災設備保守点検事業、「満蔵寺のお葉附イチョウ」の樹勢回復事業に補助金を交付した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-2-2	事業名	50	後継者養成事業費補助金の交付	計画期間	前/中/後期
事業内容	指定等無形民俗文化財の後継者養成に必要な事業に対し補助金を交付する					
R7年度 実施計画	・無形民俗文化財の保存会が行う後継者養成事業に補助金を交付（通年）					
R7年度 実施結果	「やったり踊り」「西金野井の獅子舞」「不動院野の神楽」「銚子口の獅子舞」「赤沼の獅子舞」「東中野の獅子舞」「榎の囃子神楽」各保存会が行う後継者養成事業に補助金を交付した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-2-2	事業名	51	指定等文化財管理費補助金制度の検討	計画期間	中/後期
事業内容	指定等文化財の所有者の維持管理の負担を軽減するため、管理費の補助制度のあり方について検討する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	2-2-2	事業名	52	保存活用計画の作成	計画期間	中/後期
事業内容	指定等文化財の適切な保存と活用を図るための計画を作成する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					

*太字は重点事業

施策体系	2-2-2	事業名	53	祭り・行事の記録	計画期間	中/後期
事業内容	指定無形民俗文化財を優先に、祭り・行事の映像記録などを作成する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	2-2-2/2-4-1	事業名	54	所有者講習会の実施	計画期間	前/中/後期
事業内容	文化遺産の所有者向けの講習会を実施し、保存と継承に関する情報の共有を図る					
R7年度 実施計画	民俗文化財懇談会の開催（8月）					
R7年度 実施結果	—					
評 価	C. 予定どおり実施できなかった					
施策体系	2-2-2	事業名	55	市内遺跡の発掘調査	計画期間	前/中/後期
事業内容	現状保存できない遺跡について発掘調査を実施し、発掘調査報告書を刊行する					
R7年度 実施計画	・各種開発に先立つ発掘調査の実施（通年） ・『小湊山下遺跡10次地点』『小湊山下北遺跡24次地点』『神明貝塚詳細報告書』の刊行（通年）					
R7年度 実施結果	2地点（小湊山下遺跡12次地点、貝の内遺跡29次地点）で発掘調査を実施したほか、3冊（小湊山下遺跡10次地点、小湊山下北遺跡24次地点、神明貝塚1～12次地点）の発掘調査報告書を刊行した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-2-2	事業名	56	文化遺産の複製品の作成	計画期間	中/後期
事業内容	脆弱資料や利用頻度の高い資料の複製品を作成する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					

*太字は重点事業

施策体系	2-2-2	事業名	57 文化遺産のデジタルデータ化	計画期間	中/後期
事業内容	2次元のほか、3次元での資料のデジタルデータ化を推進する				
R7年度 実施計画	—				
R7年度 実施結果	—				
評 価	—				
施策体系	2-2-2	事業名	58 文化遺産の保存修復	計画期間	前/中/後期
事業内容	資料の状態に応じて、適切な保存修復を行う				
R7年度 実施計画	・常設展示品の補修（通年） ・各種補助金の活用（通年） ・収蔵庫の燻蒸（9月）				
R7年度 実施結果	収蔵資料の燻蒸を行った				
評 価	B. 概ね予定どおり実施できた				
施策体系	2-2-2/2-4-1	事業名	59 伝統工芸技術後継者の養成	計画期間	前/中/後期
事業内容	伝統工芸技術の後継者の養成を図る				
R7年度 実施計画	・春日部桐箆筒技術後継者養成講座の開催（全22回）【商工振興課・春日部桐たんす組合】				
R7年度 実施結果	郷土資料館の講座として「桐の貯金箱づくり」、春日部桐たんす組合による「春日部桐箆筒技術後継者育成講座」を開催した				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	2-2-2	事業名	60 財源確保の仕組みづくり	計画期間	中/後期
事業内容	市費や県費、国費のほか、民間資金やクラウドファンディング、ふるさと納税など、文化遺産の保存を推進するための財源確保の仕組みを検討する				
R7年度 実施計画	—				
R7年度 実施結果	—				
評 価	—				

*太字は重点事業

施策体系	2-2-3	事業名	61	文化遺産データベースの公開	計画期間	中/後期
事業内容	文化遺産データベースを公開し、文化遺産の情報を産学官民で共有する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	2-3-1	事業名	62	保管施設の整備	計画期間	中/後期
事業内容	文化遺産を保管する施設の整備を促進する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	2-3-1	事業名	63	防災設備の整備	計画期間	中/後期
事業内容	保管施設の耐震診断や防災設備の設置を促進するとともに、定期的に保守点検を行う					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	2-3-1	事業名	64	防犯設備の整備	計画期間	中/後期
事業内容	保管施設の防犯設備の設置を推進するとともに、定期的に保守点検を行う					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					

*太字は重点事業

施策体系	2-3-2	事業名	65	防災訓練の実施	計画期間	前/中/後期
事業内容	所有者及び地域と協働で、文化財防火デー防災訓練を実施する					
R7年度 実施計画	・香林寺（内牧）で文化財防火デー防災訓練を開催（1月）					
R7年度 実施結果	1/24に香林寺（内牧）において市指定有形文化財「円空仏」等を対象とした文化財防火デー防災訓練を実施した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-3-2	事業名	66	研修会への参加	計画期間	前/中/後期
事業内容	県主催のレスキューボランティア研修会やレスキュー防災研修会など、防災に関する研修会に参加し、所有者などと知識を共有する					
R7年度 実施計画	・埼玉県文化財保護協会主催の被災文化財レスキューボランティア研修会（10月～12月）、文化財レスキュー・防災研修会（2月）等に参加					
R7年度 実施結果	2/13に県立文書館において開催された文化財レスキュー・防災研修会に参加した					
評 価	B. 概ね予定どおり実施できた					
施策体系	2-3-2	事業名	67	被災文化遺産レスキューマニュアルの整備	計画期間	前/中期
事業内容	被災文化遺産のレスキューの先行事例について研究し、市版のマニュアル作成について検討する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	2-3-2	事業名	68	防犯マニュアルの整備	計画期間	前/中期
事業内容	文化遺産に関する防犯の先行事例について研究し、市版のマニュアル作成について検討する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					

*太字は重点事業

施策体系	2-3-2	事業名	69	防犯のまちづくり計画への位置づけ	計画期間	前期
事業内容	地域で文化遺産を守る体制の構築のため、次期計画での位置づけを行う					
R7年度 実施計画	令和5年度に完了					
R7年度 実施結果	令和5年度に完了					
評 価	—					
施策体系	2-3-3	事業名	70	所有者との連絡体制の整備	計画期間	前期
事業内容	日常的に所有者と連絡を取り合い、文化遺産の保管状況を確認するとともに、地域も含めた緊急時の連絡体制について整備する					
R7年度 実施計画	・天然記念物樹勢診断、指定文化財環境整備、指定文化財公開時の視察等にあわせ状況を確認（通年） ・連絡先の再確認（通年）					
R7年度 実施結果	文化遺産の公開時、また台風等の自然災害の発生後に、適宜現況調査を実施した有形文化財及び天然記念物の所有者に対し連絡先の再確認を行った					
評 価	B. 概ね予定どおり実施できた					
施策体系	2-3-3	事業名	71	消防本部との連絡体制の整備	計画期間	前/中/後期
事業内容	文化遺産データベースにより、民間所蔵の文化遺産の保管場所などの情報を共有する					
R7年度 実施計画	・文化遺産データベースの整備（通年） ・所有者あてデータ提供の可否に関する意向確認（通年）					
R7年度 実施結果	文化遺産データベースの整備を継続するとともに、盗難や火災等の被害対象となり得る有形文化財及び天然記念物の所有者あて外部データ提供の可否について意向確認を行った					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-3-3	事業名	72	防災ネットワーク構築の検討	計画期間	前/中期
事業内容	県内外自治体や他機関との、平常時及び災害時の連携のあり方について検討する					
R7年度 実施計画	・埼玉県文化財保護協会文化財非常災害対策委員会への協力（通年）					
R7年度 実施結果	県及び市町村、県地域史料保存活用連絡協議会、県文化財保護協会、県博物館連絡協議会が合同で被害状況照会訓練を実施したが、具体的な連携のあり方等については今後検討していく必要がある					
評 価	B. 概ね予定どおり実施できた					

*太字は重点事業

施策体系	2-3-3	事業名	73	警察署との連絡体制の整備	計画期間	前/中/後期
事業内容	文化遺産データベースにより、民間所蔵の文化遺産の保管場所などの情報を共有する					
R7年度実施計画	・文化遺産データベースの整備（通年） ・所有者あてデータ提供の可否に関する意向確認（通年）					
R7年度実施結果	文化遺産データベースの整備を継続するとともに、盗難や火災等の被害対象となり得る有形文化財及び天然記念物の所有者あて外部データ提供の可否について意向確認を行った					
評価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-3-3	事業名	74	定期的な防犯パトロールの実施	計画期間	中/後期
事業内容	所有者や地域が主体となって、定期的にパトロールを実施する体制づくりを促進する					
R7年度実施計画	—					
R7年度実施結果	—					
評価	—					
施策体系	2-4-1	事業名	75	市民ボランティア制度の検討	計画期間	前/中/後期
事業内容	市民との協働を推進するために、ボランティア制度などについて検討する					
R7年度実施計画	・神明貝塚ボランティア講座、市史講座の開催（通年） ・古文書解読ボランティア講座の充実、他ボランティア導入の研究（通年）					
R7年度実施結果	古文書解読ボランティア養成のための勉強会を継続するとともに、神明貝塚ボランティア講座や地学さんぽ講座の開催をとおして、将来的にボランティアとして活動する人材の育成を継続した					
評価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-4-1	事業名	76	学芸員など専門職員の確保	計画期間	前/中/後期
事業内容	多様な文化遺産の保存・活用を推進していくため、専門的知識を有する職員の継続的な確保に努める					
R7年度実施計画	—					
R7年度実施結果	—					
評価	—					

*太字は重点事業

施策体系	2-4-1	事業名	77	文化財保存活用支援団体の指定の検討	計画期間	中/後期
事業内容	法第192条の2の規定に基づく文化財保存活用支援団体の指定について検討する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	2-4-1	事業名	78	観光ガイドの養成	計画期間	前/中/後期
事業内容	市の歴史文化についてガイドを行う人材を養成し、行政以外の情報発信機能の強化を行う					
R7年度 実施計画	・観光ボランティアの養成（通年）【観光振興課、観光協会】 ・観光ボランティア団体向け講座等、依頼により協力（通年）					
R7年度 実施結果	観光ボランティアの研修に講師を派遣し、市の歴史文化に関する知識の深化に努めた					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-4-2	事業名	79	文化財保護審議会	計画期間	前/中/後期
事業内容	市条例に基づき、文化財の保存・活用に関する重要事項について調査審議を行う					
R7年度 実施計画	・文化財保護審議会の開催（6月、2月）					
R7年度 実施結果	8/5に第1回会議を開催し、指定文化財候補物件（岩井宏融家文書）を選定した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	2-4-2	事業名	80	文化財保存活用地域計画協議会	計画期間	前/中/後期
事業内容	市条例に基づき、地域計画の作成・変更・実施に関する事項について協議する					
R7年度 実施計画	・文化財保存活用地域計画協議会の開催（7月、2月）					
R7年度 実施結果	7/30に第1回会議を開催し、令和7年度事業計画について委員から意見聴取を行った					
評 価	A. 予定どおり実施できた					

*太字は重点事業

施策体系	2-4-2	事業名	81 市史編さん委員会	計画期間	前/中/後期
事業内容	市条例に基づき、市史編さん事業に関する基本方針及び基本計画について審議する				
R7年度 実施計画	・市史編さん委員会の開催（8月、3月）				
R7年度 実施結果	8/7に第1回会議を開催し、石造物調査の着手等について報告した				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	2-4-3	事業名	82 県と市町村との連携	計画期間	前/中/後期
事業内容	県や他市町村と連携し、情報発信を行うほか、市町村間の連携組織を活用し、広域的に文化遺産の魅力を発信する				
R7年度 実施計画	・東部地区文化財担当者会、全国史跡整備市町村協議会、埼玉県文化財保護協会、埼玉縣市町村文化財保護行政担当者会、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会、埼玉県博物館連絡協議会、関東地区博物館協会に参加（通年）				
R7年度 実施結果	県SNSを活用し市内イベント等の情報発信を行ったほか、各種協議会に参加し自治体間の情報共有を行った				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	2-4-4	事業名	83 庁内の連携強化	計画期間	前/中/後期
事業内容	文化財保存活用地域計画に関する庁内勉強会を設置し、情報共有及び事業の連携を推進する				
R7年度 実施計画	・文化財保存活用地域計画協議会の開催（7月、2月） ・大風文化交流センターの活用（通年）				
R7年度 実施結果	文化財保存活用地域計画協議会を開催 学校教育分野（出張授業）と観光分野（大風文化交流センターの活用）との連携を優先的に進めた				
評 価	A. 予定どおり実施できた				
施策体系	2-4-5	事業名	84 大学などとの共同調査の推進	計画期間	前/中/後期
事業内容	市職員の専門領域以外の調査について、大学などとの共同調査を実施する				
R7年度 実施計画	・スマートフォン用コンテンツ制作の研究（通年）				
R7年度 実施結果	ICTを活用した史跡鑑賞システムの共同研究を継続したほか、神明貝塚詳細報告書の刊行にあたって共同研究の成果を反映した。				
評 価	A. 予定どおり実施できた				

*太字は重点事業

施策体系	2-4-5	事業名	85	市民や関係団体などとの連携強化	計画期間	前/中/後期
事業内容	市民や関係団体などと連携して、文化遺産の保存・活用を図るための体制を構築する					
R7年度 実施計画	・文化財保存活用地域計画協議会（7月、2月） ・神明貝塚ボランティア講座、市史講座の開催（通年） ・古文書解読ボランティア講座の充実、他ボランティア導入の研究（通年）					
R7年度 実施結果	文化財保存活用地域計画協議会を開催 古文書解読ボランティア養成のための勉強会を継続するとともに、神明貝塚ボランティア講座や地学さんぽ講座の開催をとおり、将来的にボランティアとして活動する人材の育成を継続した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	3-1-1	事業名	86	パンフレット・解説板などの多言語化	計画期間	中/後期
事業内容	外国人観光客に対応するため、パンフレットや解説板などの多言語化を促進する					
R7年度 実施計画	・展示解説シートの多言語化（通年）					
R7年度 実施結果	案内表示など一部多言語化を行ったが、展示解説シートについては検討中					
評 価	C. 予定どおり実施できなかった					
施策体系	3-1-1	事業名	87	文化遺産周遊ルートの設定	計画期間	中/後期
事業内容	マイクロツーリズム需要への対応として、文化遺産を周遊する観光ルートを構築する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	3-1-1	事業名	88	春日部市エコミュージアム構想の検討	計画期間	後期
事業内容	エコミュージアム構想について研究し、次期計画において文化財保存活用区域を設定することを検討する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					

*太字は重点事業

施策体系	3-1-1	事業名	89	市の特産品や土産品の開発	計画期間	後期
事業内容	市の歴史文化を活かした特産品や土産品の開発を促進する					
R7年度 実施計画	—					
R7年度 実施結果	—					
評 価	—					
施策体系	3-1-2	事業名	90	景観形成プロジェクト	計画期間	前/中/後期
事業内容	違反広告物の指導や景観絵画コンクールなど、景観保全に関する啓発活動を関係団体などと連携して実施する					
R7年度 実施計画	・景観重要建造物・樹木の指定と支援（通年）、違反広告物の指導・簡易除却（通年）、景観絵画コンクールの実施【都市計画課】					
R7年度 実施結果	市内の学校に通う小学5年生と中学2年生を対象にコンクールを開催し、小学生の部に119点、中学生の部に80点の計199点の応募があった					
評 価	A. 予定どおり実施できた					
施策体系	3-1-2	事業名	91	地区まちづくり計画	計画期間	前/中/後期
事業内容	地区の歴史文化を活かした「地区まちづくり計画」の作成を促進する					
R7年度 実施計画	・地区の特性を生かしたまちづくりを進めることを目的として作成した計画を、市が審査基準に基づき「地区まちづくり計画」に認定（通年）【都市計画課】					
R7年度 実施結果	担当課がホームページ等で案内を行っているが、「地区まちづくり計画」は作成されなかった					
評 価	—					
施策体系	3-1-3	事業名	92	子ども・子育て支援事業	計画期間	前/中/後期
事業内容	講座の対象を親子、もしくは子どもから高齢者までとすることにより、世代間交流の促進や子どもの居場所づくりに活用する					
R7年度 実施計画	・「第2期子ども・子育て支援事業計画」掲載の、土器作り教室（7月～8月）、体験講座（5回）を開催					
R7年度 実施結果	計画に位置づけられている土器作り教室を1回、体験教室を5回実施した					
評 価	A. 予定どおり実施できた					

*太字は重点事業

施策体系	3-1-3	事業名	93 高齢者保健福祉事業	計画期間	前/中/後期
事業内容	展示会や所蔵資料を、高齢者福祉事業として行われる回想法などに活用する				
R7年度 実施計画	・「第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」掲載の高齢者の社会教育、生涯学習等の活動と社会参加の支援のため、郷土資料館の活用を促進（通年）				
R7年度 実施結果	高齢者支援課所管のふれあい大学やふれあい大学院に講師を派遣するとともに、講座内で郷土資料館所蔵の古写真を利用した				
評価	A. 予定どおり実施できた				

*太字は重点事業

*春日部市文化財保存活用地域計画はこちら



*文化財課のブログはこちら



*郷土資料館収蔵資料データベースはこちら



報告② 令和8年度事業計画について

【文化財担当 事業計画】

	事業の名称	実施時期	事業内容
審議会	文化財保護審議会	6、2月	会議（年2回以内）、指定候補物件の調査
	文化財保存活用地域計画協議会	7、2月	会議（年2回以内）、計画の推進について協議
	市史編さん委員会	9、3月	会議（年2回以内）、市史の方針や計画を審議
普及啓発	土器作り教室	7、8月	土器製作と野焼き、大風文化交流センター等の見学
	民俗芸能公開事業	12月頃	ホール等で複数の団体による民俗芸能の公開（R8年度の出演団体は、榎・倉常・不動院野を予定）
	文化財防火デー防災訓練	1月下旬	所有者や地区と協働で防災訓練を実施（R8年度は場所未定）
	講師派遣	随時	各種講座へ講師派遣（ふれあい大学、文化財マップ講座等）
	神明貝塚普及啓発	随時	ボランティア講座、出張授業、スマホ用コンテンツ制作
	解説板の確認	随時	市内文化財解説板修繕箇所等の確認
	広報HP、教委HPほごログ	随時	文化財公開のお知らせ、新指定文化財紹介、今昔絵巻（5・6・7・9・11・1・3月）、普及啓発事業の募集等
	市史講座・地学さんぽ	10、11月頃	市史自然誌編の現地見学会
	市史講座・石造物入門講座	1月	石造物調査に合わせた講座、郷土資料館の歴史文化講演会と共催
	市史の頒布	通年	市役所、教育センター、庄和総合支所、ぶらっと春日部、道の駅庄和で頒布
調査	文化遺産データベースの整備	通年	指定等文化財及び未指定文化財のデータベースの整備
	市内遺跡発掘調査等	通年	各種開発に伴う試掘調査、発掘調査
	整理・報告書刊行	通年	貝の内遺跡29次の整理作業
	指定文化財取材	随時	祭礼等における公開時の取材（4・5・7・10・11・1・3月）
	市内石造物調査	通年	市史編さん事業計画に基づく調査（年間18回程度）
	歴史的公文書等の収集	通年	歴史的に重要な公文書の収集、保管、整理
	行政作成物の収集	随時	庁内等で作成した計画書やポスター等の収集
保存・整備・継承	神明貝塚の公有地化	通年	史跡指定範囲の土地購入
	史跡神明貝塚整備基本計画の策定	通年	現地整備に向けた基本計画の策定
	指定文化財の保存管理の支援	随時	天然記念物樹勢診断
	史跡土地借上	通年	花積貝塚の石碑敷地の借上
	指定文化財環境整備	随時	神明貝塚、花積貝塚、内牧塚内古墳群、めがね橋、五ヶ門樋の除草、樹木伐採等
	民俗芸能保持団体への支援	随時	後継者養成や募集、道具や装束などの補修や修繕の事業、活動のPR等の情報提供や活動の支援を行う
補助金	国庫補助対応	通年	市内遺跡、史跡購入、計画策定
	県費補助対応	通年	市内遺跡、有形3（花蔵院・香取神社・めがね橋）、民俗1（やったり踊り）、記念物1（お葉附イチョウ）
	市費補助対応	通年	有形2（花蔵院・香取神社）、民俗8（やったり踊り・西金野井・不動院野・銚子口・赤沼・東中野・榎・倉常）、記念物1（お葉附イチョウ）
団体	東部地区文化財担当者会	通年	総会、例会、研修会（R8年度は総会会場）
	全国史跡整備市町村協議会	10、11月	全国大会、臨時大会
	埼玉県文化財保護協会	通年	総会、評議員会。『埼玉の文化財』
	埼玉縣市町村文化財保護行政担当者会	通年	会議（年2回）
	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会	通年	総会、実務研修会、主管課長等研修会、視察研修会、役員会

【郷土資料館 事業計画】

	事業の名称	実施時期	事業内容
特記事業	教育センター再整備	通年	教育センターリノベーションに係る郷土資料館充実の研究。展示構想作成（基本計画7年秋、8年10月～9年度休館）
	再整備にかかる資料移動	通年	教育センター内の指定文化財は収蔵庫、地下整理室とバックヤードの資料等はハルカイト、場合によって谷原中借用。学芸員研究室と旧事務室の整理。しんちゃんモニュメントは文化会館へ移動
	登録博物館の手続き	R8.3月登録 5月に定期報告	定期報告準備、実績等記録
展示	春の花の企画展「どっちの花見ショー 桜vs藤」	R8.3/24～5/2	花を中心にした企画展示。春日部市内の桜・藤に関わる資料を紹介
	第73回企画展示「神明貝塚の生業」	5/16～7/5	石器を中心に、縄文時代の生業をテーマとした展示。神明貝塚出土資料も展示
	第74回企画展示「春日部の古刹」	8/1～8/30	円空仏を中心に観音院、小淵の資料を展示
	地域学習展（第43回）「くらしのうつりかわりー懐かしの暮らしの道具展ー」	会場・日程検討 10/ ～R9.3/	主に小学生の地域学習に即して、民具等を展示。一般を対象に、少し昔の生活のようすを展示。会場を変更しての開催を検討
	ハルカイト展示	通年	ハルカイト展示の日常管理。イベント開催はハルカイト事業との調整要
	常設展示品の補修・充実	上半期	常設展示の更新に向けて、構成・展示資料等を再検討。季節展示の実施（2か月に1回程度）。展示解説シートの更新（多言語化等）・補充。体験コーナーの補修・補充。近現代の充実
講座・講演	春の花展示みゅーじあむとーく	3/29、4/25	ミニ展示を当館学芸員が展示解説（30分程度）。1日2回開催（定員なし/10時30分・15時）
	第73回企画展示みゅーじあむとーく	5/23、6/14、7/1	春季展示を当館学芸員が展示解説（30分程度）。1日2回開催（定員なし/10時30分・15時）
	第74回企画展示ミュージアムトーク	8/2、8/15、8/28	夏季展示を当館学芸員が展示解説（30分程度）。1日2回開催（定員なし/10時30分・15時）
	第74回企画展示解説講座	8/22	第74回展示について、当館学芸員が解説
	第74回企画展示記念講演会「観音院と修験」	8/31	夏季展示に関する講演会。講師：尾花冬樹氏（観音院住職）、関口真希子氏（埼玉県立文書館）
	夏季体験講座	8/8	小学生対象dokidoki音楽づくり。講師：中村耕作氏（国立歴史民俗博物館）、早川富美子氏（國學院大學栃木短期大学）、高倉弘光氏（国立音楽大付属小学校）
	体験講座	8/1、12/6、20、R9.3/	桐貯金箱製作体験（8/1）・しめ縄（12/6、20）を制作。凧作り教室（3/）。下半期の会場は中央公民館
	体験ワークショップ	6～9月 10月以降は会場変更	紙芝居上演（定時・不定時も可）とおもちゃ作り（紙でつぼう・ぶんぶんごま・からくりびょうぶ・パタパタ・びよん2かえるほか）。遊学一日体験・埼玉県民の日にあわせて、企画展示室内で開催。遊学フェスティバル参加。（定員なし/定時は10時30分・14時/企画展示室）
	謎解きイベント	10/ ～R9.3/会場変更	地域学習展にあわせ、資料館内を中心とした謎解きイベントを開催
	考古学講座	9/26、10/24、11/28、12/26、1/23、2/27、3/20	ハルカイトで開催。市内の遺跡を題材としながら、縄文時代から奈良・平安時代までの考古学の基礎を習得（30人/10時30分～12時）
	古文書講座 はじめての古文書編	6/28、7/5、7/11、7/18	古文書解読の基礎を習得（文字の解読）（40人/10時30分～12時）
	古文書講座 村の古文書編	9/19、9/27、10/3、10/4	市役所会議室で開催。農村に伝わる古文書を解読し、古文書解読に慣れる（40人/10時30分～12時）
	古文書講座 粕壁宿の古文書編	12/5、R9.1/30、2/6、3/27	市役所会議室で開催。近世粕壁宿の古文書を解読し、春日部の歴史を学習（40人/14時～15時30分）
	学芸員講座	日程、会場検討	文化財課学芸員の専門性を生かした講座。文化財担当と調整要
	歴史・文化講演会①	6/7	教育センターホール。栗島義明氏による縄文時代の講座。14時～16時
	歴史・文化講演会②	6/28	教育センターホール。荒木仁郎氏の近世農村の借金証文に関する講座。14時～16時
	歴史・文化講演会③	日程、会場検討	大川明弘氏の粕壁をテーマにした講座
	歴史・文化講演会④	3/28	中央公民館で開催。塚越義幸氏の「奥の細道」の講座
	歴史・文化講演会⑤	2/20	中央公民館で開催。板垣時夫氏の石造物をテーマにした講座
	歴史・文化講演会⑥	日程、会場検討	日程、会場、内容検討
情報発信	広報の充実	通年	広報かすかべ、夏・秋イベントページ（カラー）への掲載。効果的なポスター掲示・チラシ配布場所の検討。安心・安全メールの活用。外国語対応の研究
	郷土資料館ホームページの充実	通年	ホームページの内容を整理
	文化財課ブログ「ほごログ」の充実	通年	資料館事業等について、ブログを更新し充実を図る
	年報の刊行	通年	資料館概要、実績をまとめた年報を作成。PDFデータWEB公開。紀要の刊行検討

	事業の名称	実施時期	事業内容
収集・保存	環境調査委託	通年	4月か5月に契約（害虫・細菌の調査 年2回の予定）
	IPM計画の策定と清掃等の実施	通年	環境調査委託を踏まえ、文化財IPM計画を策定し、定期的な清掃等を実施
	資料燻蒸	上半期	燻蒸釜による薬剤燻蒸。上半期のみを予定
	民具収蔵庫の管理	通年	文化財第2収蔵庫、ハルカイト収蔵庫の管理。資料の確認とリスト作成。虫菌害に注意
	郷土資料の調査・受入・整理	通年	春日部の歴史・文化等に関わる資料の調査と受入れ、整理。資料整理は古写真と広報移管写真の整理・画像データ化、及び収蔵古文書類のリスト化に重点を置く。受贈図書の整理と管理
	デジタルアーカイブの推進	通年	収蔵品管理・公開システム公開（公開R7.7～）
調査・研究	常設展示資料調査	通年	①日光道中・宿場関係資料、②河川関係資料、③春日部氏関係資料、④考古学関係資料、⑤災害関連資料
	企画展示資料調査	通年	企画展示に関する資料調査
	郷土資料の調査	通年	郷土史家の協力を仰ぎ、粕壁地区を中心とした郷土史調査（聞き取り・記録等）
	情報通信に関する研究	通年	①郷土資料館ホームページの充実に関する研究、②館情報の発信・レファレンスに関する研究
博学連携	小学校郷土資料室の整備	通年	既設校（10校）の整備を進めながら、その有効活用を図る。また学校既存の6校のうち未整備の4校（牛島小・小淵小・宮川小・正善小）について現況確認調査を実施（豊春小学校は撤収）
	民具・考古・歴史資料の貸出の促進	通年	主に小学校第3学年・第6学年を中心とした教科指導・総合的学習での教材用資料の貸出しセットを整備し、ホームページに掲載。回想法・共想法等で活用するため高齢者用にも転用を研究
	小学校団体見学の受入れ	通年	主に小学校第3学年・第6学年を中心とした教科指導・総合的学習での団体見学。ハルカイト見学の対応（10月以降中止の予定）
	でばりい資料館（出張授業）	通年	教科指導・総合的学習での講師派遣
その他	出前講座	通年	春日部市の歴史・文化等に関わる講座への講師派遣
	紙芝居貸出	通年	春日部の昔ばなしの紙芝居を貸出し
	博物館実習受入れ	7/12打ち合わせ、7/25～7/31、8/8と8月下旬夏季展示記念講演会の計9日間	博物館学芸員資格取得のための実習生を受入れ、博物館業務を実習させる。4月募集要項公表、募集開始、5月20日締切
	埼玉県博物館連絡協議会東・北ブロック	通年	役員会、総会、研修会
	埼玉県博物館連絡協議会	通年	理事会、総会、研修会
	関東地区博物館協会	通年	総会、研修会
	東部地区文化財担当者会	通年	主担当は文化財担当。郷土資料館職員が民俗部会の部会長。資料集刊行
	市民ボランティアの充実	通年	古文書解読ボランティア（平成29年度～）による古文書勉強会を充実。他のボランティアの導入を研究。回想法（博福連携）・考古学ボランティアの導入検討